

「全少」を日本一研究する指導者による提案

ZENSHOに

挑戦しよう！



養正館館長・渡辺貴斗

第3回

誰だって失敗する。だから学べるんだ！

◆僕、いいところ一つも無いんだ

「宿題は終わったの？」

「学校の支度は？」

「どんどんごはん食べないと、もうこんな時間だよ！」

息子が小2の頃の話です。妻は息子に毎日イライラしていて、イライラの原因を息子が男の子で要領が悪いからと決めつけていました。そんなある日、学校から帰ってきた息子がこう言うのです。

「今日ね、学校で“自分のいいところを書こう”っていうのがあって、僕だけ最後まで一つも書けなかったんだ。頑張って考えてみたんだけど、僕はダメなところはたくさんあるんだけど、いいところは一つも無いんだ」

妻はショックのあまり、しばらく何も言えず立ちすくんでいました。

「今まで私は何をしてきたんだろう」と。

その日の夜、妻が私に相談してきましたので、こう答えました。

「子供は“できない”人なので、教えてあげなくてはならない、と決めつけるのは親切の押し売り。子供は皆、自分で何でもできて、今よりもっと良くなりたいと思っている。まず子供の考え通りにやらせてみる。失敗すれば、より良くなるろうとして自分で考えて問題解決していく。解決できると、“自分にもできる”という自信がついて、自分をダメ人間と思わなくなる。親が先回りして答えを教えてしまっただけは、せっかくの成長するチャンスを摘み取ってしまう。親は見守って、助けを求めてきたときに

だけサポートをすればいい。そうやって自立していくんだ」と。

今までは“父親には子育てのことは分からない”、とアドバイスに聞く耳を持たなかった妻が、その日は私の話しを素直に聞き入れました。

◆自分で考え自分で行動すると・・・

次の日、息子に妻がこう提案しました。

「これからはお母さんは何も言わないから、何でも自分でやってみない？ 朝も自分で起きて、出かける時間も自分で考えるの」。

すると、「面白そう！」と息子。その晩、妻が何も言わないと息子は帰って来てから鞆も開けずベッドに入っていました。

翌朝、誰も起こさないでいると、のんびり起きてきて、「実は僕ね、昨日学校から帰ってきてから一回も鞆を開けていないんだ」と、ゆっくり宿題を始め、ゆっくりと食事を始めました。出かけた時間はなんと8時半過ぎ。完全に遅刻です。その間、妻は言いたい気持ちを抑えるため、隣の部屋に行って何度も気持ちを落ち着かせました。時計を見て驚いた息子は、泣きながら学校へ出かけていきました。

しかし、その日から変化が現れました。学校から帰ってきて、「目覚まし時計ある？」と自分で翌朝のために起きる準備を始め、自分から宿題をし始めました。次の日の朝、起きたのは5時半。自分で時計を見ながら、ご飯を食べ、靴下を履き...

驚くことに、この日の朝以来、小学5年の現在まで、こちらからは何も言わないのに遅刻することも

なく学校に通っています。

◆安全な庭でどんどん失敗させよう

お母さんは「この子を立派な大人に育てあげる責任がある」と信じています。ですから、遅刻させることはお母さんの罪と考えてしまいます。しかし、朝起きるのは子供の仕事であり、お母さんには全く関係ありません。遅刻して困るのは子供本人です。

お母さんが起こしてしまうことで、親に依存し自立を妨げることとなります。経験は本人にしかできません。経験豊富な親が代わりに最適な方法を教えてあげても、子供は少しも成長できないのです。

子どもが転ぶ前に親が手を貸していると、転んだことが無いので起き上がり方が分からないまま大人

になり、残酷な競争社会に免疫無く放り込まれ、未来への希望を失ってしまったりするのです。

お母さんの安全な庭にいる内にいろいろ失敗させ自分で立ち上がることで達成感を感じさせる、つまり自信という経験を積ませることが、次へのチャレンジ精神を生み、自立を促し「生きる力」を育てていくのです。

PROFILE

■渡辺貴斗 TAKATO WATANABE

1968年4月20日生まれ。
7歳から父である館長から厳しく空手の手ほどきを受ける。東大大学院博士号を取得し、東大に研究者として勤務。後、先代が病気となったことから一大決心をして、養正館を継ぐ。持ち前の研究魂から道場経営でも創意工夫の結果、一道場で300名と大躍進。

日本空手道鴻志会空手道場養正館 / 静岡県沼津市本田町 11-12



One Point Advice

「全少大会」出場の ワンポイント・アドバイス

◆宿泊場所と会場

遠方の選手は、前泊しなくては当日間に合いません。「東京武道館」のある「綾瀬駅」付近のホテルはすぐに満室になりますが、地下鉄千代田線沿線であればかなり遠くても問題ありません。地下鉄の駅間の乗車時間は2分程度。たとえば、7駅先の新御茶ノ水駅からでも20分程度で会場に着けます。本数も多く運行しています。西日暮里駅、あるいは北千住駅乗り換えを視野に入れば候補はかなり広がります。

千代田線に乗っていると、西日暮里あたりから空手着を着た子供がたくさん乗ってくるので、会場がわからなくてもその人たちについて行けば迷うことはありません。綾瀬駅から会場までは歩いて5分程度です。

◆会場に着いたらまず

東京武道館に着いたらまず、プログラムを購入しましょう。通常の大会はプログラムがもらえますが、全日本大会は全少に限らず自分で買わなくてはなりません。武道館入口にテントがあり、そこで買えます。

会場外に長蛇の列ができていますが、その人たちは二つの目的で並んでいます。ひとつは観覧席の確保、もうひとつは練習場の確保です(荷物等での占拠禁止)。練習場は冷房が効いているので、外で練習するより快適です。しかし、1・2年生は9時の開場とともに中に入って、すぐにエントリーチェックがあるので、練習場で練習する時間はほとんど無いと考えた方がいいでしょう。1・2年生は、開場前に外でウォーミングアップすることになりますが、朝7時前の練習は禁止されていますのでご注意ください。

各地で予選会が終わり、いよいよ出場者が決定している頃かと思えます。初参加の人にとっては、東京武道館の所在地、最寄駅さえ分からない状況です。8月号・9月号で初出場の皆さんに渡辺先生からのアドバイスをお届けします。

また、外は大変暑いので、練習というより、休みながらストレッチをする程度にしましょう。その場合、空手着のズボンで練習すると汚れるので、短パンを履くといいですね。

◆昼食について

東京武道館内には売店があり、弁当、ペットボトル飲料などが購入できます。お湯もあるので、カップ麺で済ませている大人もいます。

会場を出て綾瀬駅に向かう途中にコンビニもありますし、会場の西側には大きなスーパーもあります。綾瀬駅まで戻れば、牛丼店をはじめたくさんのレストランがあり、昼食は会場についてからでも何とかできます。



写真左に東京武道館の一部が見えます。入場開始直前の会場前の様子です。この写真の前方には既に30m以上の列が続いている。